

平成26年度 第4回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時 平成27年2月13日(金) 14:00～17:20
 場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 34名 出席者33名 欠席者1名

1号委員 (琉大病院長)	國吉 幸男
2号委員 (県立中部病院長)	松本 廣嗣
(那覇市立病院長)	照喜名 重一
3号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
(県立宮古病院長)	安谷屋 正明
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝
4号委員 (沖縄県医師会長)	宮城 信雄
5号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬 (代理) 城間 吉弘
6号委員 (沖縄県薬剤師会長)	神村 武之
7号委員 (沖縄県看護協会会長)	奥平 登美子
8号委員 (沖縄県政策参与)	欠員
9号委員 (沖縄県保健医療部長)	仲本 朝久
10号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
11号委員 (医療福祉支援センター長)	村山 貞之
12号委員 (琉大薬剤部長事務取扱 (併))	國吉 幸男 (代理) 外間 惟夫
13号委員 (琉大看護部長)	下地 孝子
14号委員 (琉大事務部長)	深澤 博昭 (欠席)
15号委員 (県立中部病院血液・腫瘍内科部長)	玉城 和光
(県立中部病院乳腺外科部長)	上田 真
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩
16号委員 (北部地区医師会病院看護部長)	柴山 順子
(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立八重山病院副看護部長)	上盛 厚子
17号委員 (沖縄県がん患者会連合会)	田仲 康榮
(がんの子供を守る会沖縄支部代表)	片倉 政人
(公益社団法人日本オストミ協会沖縄支部長)	大城 松健
(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
18号委員 (東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット特任教授)	埴岡 健一
(沖縄タイムス社会部北部報道部長)	儀間 多美子
(特定非営利活動法人グループ・ネカス理事長)	天野 慎介
19号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	吉見 直己
(琉大病院第一外科長)	西巻 正
(琉大病院骨髄移植センター長)	百名 伸之
部会説明者 緩和ケア部会長	笹良 剛史
がん登録部会長	安里 邦子 (代理) 増田 昌人
研修部会長	喜舎場 朝雄 (代理) 宮国 孝男
相談支援部会長	樋口 美智子 (代理) 石郷岡 美穂
地域ネットワーク部会	佐村 博範 (代理) 増田 昌人
普及啓発部会長	長井 裕 (代理) 増田 昌人
がん政策部会長	埴岡 健一
陪席者 沖縄県保健医療部健康長寿課課長	糸数 公
沖縄県保健医療部健康長寿課健康企画班長	宮里 勉
沖縄県保健医療部健康長寿課主任	島袋 嘉史

冒頭

1. 感謝状授与

國吉議長から、株式会社宮平乳業 代表取締役社長 宮平隆雄氏に対して、感謝状の授与があった。

2. がん検診啓発ポスターコンテスト表彰式

國吉議長から、がん検診啓発ポスターコンテストについて、次のとおり表彰状の授与があった。

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	沖縄県立コザ高等学校	1年	池味 未冬
優秀賞	沖縄県立北中城高等学校	3年	幸喜 舜
アイディア賞	宮古島市立上野中学校	3年	上里 夢叶
ベストコピー賞	栗国村立栗国中学校 (都合により欠席のため、國吉議長が本人のコメントを朗読)	3年	久保 仁義
ベストデザイン賞	那覇市立上山中学校	3年	比嘉 貴子

3. その他

片倉委員(17号委員)から、2月15日の「国際小児がんの日」に因み、普及啓発活動の一環で配付している「小児がんの子どもたちの絵画展」の絵はがきについて、説明があった。

議事・委員一覧報告

1. 平成26年度第4回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

増田委員(10号委員)から、資料3に基づき、第4回幹事会議事要旨(平成27年1月19日開催)の確認があった。

第4回幹事会で協議した県内のがん健診の評価・検討について、県保健医療部健康長寿課の糸数課長から、資料40に基づき、乳がん検診で視触診のみを実施している3村では、集団検診とは別に個別検診でマンモグラフィー(超音波)を実施しており、国指針の検診内容を一部提供しているとの説明があった。

また、埴岡委員(18号委員)から、がん検診でのがん患者発見率と救命効果について質問があり、糸数課長から、平成23年度の乳がん患者発見率は0.34%で、国の許容値の0.23%は超えているものの、今後は救命効果の分析および市町村のがん発見者の把握することが課題であるとの説明があった。

2. 平成26年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

増田委員から、資料4の第3回協議会議事要旨(平成26年11月14日開催)の確認があった。

3. 平成26年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議事録

増田委員から、資料5の第3回協議会議事録(平成26年11月14日開催)については、各自で確認することとなった。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員から、資料6に基づき、特に変更がないことについての報告があった。

有識者報告

1. 埴岡委員報告

埴岡委員から、資料7に基づき、医療・介護提供体制の見直しに伴う「がん対策」と「地域医療対策」の相互関係と相乗効果について、説明があった。

このことについて、仲本委員（9号委員）から、今後提示される厚生労働省の地域医療構想ガイドラインや各方面の意見に基づき、県の地域医療構想を策定して行きたいとの発言があった。

審議事項

1. 都道府県拠点病院による各拠点病院への実施調査等について

増田委員から、資料8に基づき、実施調査の根拠や目的、方法について、下記の説明があった。

- ・根 拠：『がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針』の指定要件であること。
- ・目 的：がん診療連携拠点病院と支援病院のPDCAサイクル確保について、情報共有と相互評価を行う。
- ・方 法：平成27年度上半期に拠点病院3施設、下半期に支援病院3施設の実地調査を行う。評価者は、複数の施設および外部の評価委員（協議会委員、専門部会委員、その他）とする。評価結果はホームページ等に掲載し、広報する。
- ・事務局：琉大病院のがんセンター

このことについて、天野委員（18号委員）や片倉委員から、がん患者や患者家族および一般者を評価委員に含めることや、評価報告書をホームページに掲載することについて、意見があった。

また、奥平委員（7号委員）や松本委員（2号委員）から、評価指標についての質問があり、増田委員から、評価指標は各都道府県に委ねられているとの説明があった。

審議の結果、琉大がんセンター内に事務局を設置することとなった。

また、評価項目・方法については、がん政策部会でとりまとめた後、次年度の第1回幹事会および協議会で再度協議することとし、承認後は、順次拠点病院・支援病院を相互訪問していくことで了承された。

2. 緩和ケア部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

笹良緩和ケア部会長から、資料9に基づき、緩和ケアの地域連携マップ等の改訂や除痛率調査を行うことについて説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

3. がん登録部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

増田委員（安里がん登録部会長代理）から、資料10に基づき、クオリティ・インディケーターの測定が進んだことにより評価の質が向上し、今後は、フィードバックを進めていくことについて説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

4. 研修部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

増田委員（喜舎場研修部会長代理）から、資料11に基づき、各医療職の研修計画について説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

5. 相談支援部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

石郷岡相談支援副部会長から、資料12に基づき、患者サロン間のネットワーク支援や、社会保険労務士との連携を強化し、がん患者の就労支援の向上を図ることについて説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

また、天野委員から、指定要件に伴うがんサポートハンドブックの提供・周知体制の重要性や、アンケート調査の実施・配布方法について質問があり、石郷岡相談支援副部長から、アンケート調査はハンドブックの折り込み用紙で行っており、配付状況については、来週開催の部会で確認するとの回答があった。

田仲委員(17号委員)から、次回のがんサポートハンドブックの改訂では、がん条例の全文を盛り込むことについて要望があった。

6. 地域ネットワーク部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

増田委員(佐村地域ネットワーク部会長代理)から、資料13に基づき、胃がん・大腸がんの化学療法のパス作成や、PSA二次検診クリティカルパスの運用について説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

7. 普及啓発部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

増田委員(長井普及啓発部会長代理)から、資料14に基づき、メディアと教育分野への普及啓発計画について説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

8. がん政策部会「平成27年度事業計画と予算の骨子案」について

埴岡がん政策部会長から、次回の協議会で提案することについて、説明があった。

9. 平成27年度協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から、資料16に基づき、平成27年度協議会・幹事会の開催日時について、下記のとおり説明・提案があり、審議の結果、提案のとおり承認された。

○平成27年度 協議会開催日程(案)

回数	日時	場所	備考
第1回(予定)	平成27年 5月 1日(金) 14:00~17:00	大会議室	
第2回(予定)	平成27年 8月 7日(金) 14:00~17:00	大会議室	
第3回(予定)	平成27年11月13日(金) 14:00~17:00	大会議室	
第4回(予定)	平成28年 2月19日(金) 14:00~17:00	大会議室	

○平成27年度 幹事会開催日程(案)

回数	日時	場所	備考
第1回(予定)	平成27年 4月 6日(月) 14:00~17:00	大会議室	
第2回(予定)	平成27年 7月 6日(月) 14:00~17:00	大会議室	
第3回(予定)	平成27年10月 5日(月) 14:00~17:00	大会議室	
第4回(予定)	平成28年 1月18日(月) 14:00~17:00	大会議室	

10. その他

特になし

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

笹良緩和ケア部会長から、資料17に基づき、平成26年度の実績と評価について説明があった。緩和ケア研修会の内容改訂や、在宅緩和ケアマップ、地域連携クリティカルパスの作成と運用、除痛率調査、患者会への教育や行政との交流会開催等、次年度も引き続き取り組んで行きたいとの報告があった。

2. がん登録部会

増田委員（安里がん登録部会長代理）から、資料18に基づき、部会委員が厚労科研のパイロットスタディや全国がん登録に携わっていることや、委員の国内・国外の学会参加実績について、報告があった。

3. 研修部会

宮国研修副部会長から、資料19に基づき、平成26年度の実績と評価について説明があり、次年度は医師会等で発表を行いたいとの報告があった。

4. 相談支援部会

石郷岡相談支援副部会長から、資料20に基づき、平成26年度の実績と評価について説明があり、次年度は、患者家族満足度アンケートの実施や、社会保険労務士による就労相談を開始予定であるとの報告があった。

5. 地域ネットワーク部会

増田委員（佐村地域ネットワーク部会長代理）から、資料21に基づき、地域連携クリティカルパスの運用改善に向けて引き続き取り組みたいとの報告があった。

6. 普及啓発部会

増田委員（長井がん普及啓発部会長代理）から、資料22に基づき、次年度は、教育指導者のための教材開発や、離島での講演会を開催したいとの報告があった。

このことについて、田仲委員から、がん条例に基づいたがん教育が普及していないことや、がん患者連合の活動が評価対象にならないのかとの質問があった。

協議の結果、普及啓発部会の役割や評価方法について、再検討することとなった。

7. がん政策部会

埴岡がん政策部会長から、協議会前日に開催された部会では、沖縄県がん対策推進計画第2次中間評価の作業方針や方法を議論したことについて、報告があった。

また、年間カレンダーの作成や、協議会・幹事会・各部会の役割についても継続審議が行われたことについて、報告があった。

報告事項

1. 離島・へき地のがん患者を対象にした支援について

県保健医療部保健医療政策課の安次嶺主査から、離島・へき地のがん患者を対象にした、放射線治療目的の本島内ホテル宿泊割引支援制度について説明があり、平成26年度実施以降の利用実績が無いため、制度の周知徹底や付添人への支援拡大も検討中であるとの報告があった。

このことについて、天野委員から、本島での化学療法を目的とした離島患者の宿泊方法について質問があり、上田委員（15号委員）や真栄里委員（17号委員）から、放射線治療目的の患者と同様に入院していることや、本島での化学療法を希望する患者もいることについて、説明があった。

また、依光委員から、去年度と比べ、外来化学療法が2倍以上に増加していることや、玉城委員（15号委員）から、外来化学療法は圏域の中でのなるべく完結できるような体制を構築すべきだとする外部意見の紹介があった。

仲本委員から、今後、宿泊費の補助対象者拡大について、ホテル組合と協議して検討して行きたいとの回答があった。

2. がん相談支援センター相談員研修会の受講に関する要望書

増田委員から、資料24に基づき、国立がん研究センターへ要望書を提出したことについて、報告があった。

また、当日資料である要望書の回答に基づき、経費と人員不足のため、研修会の回数増加は困難であることや、研修受講希望者は理由書を提出するにも関わらず、前年度に新規申請予定の理由で受講した98人中、実際には3人の所属病院のみが申請したという調査結果を踏まえ、今後は、有償の研修会やe-ラーニングで学習コンテンツを提供することについて、説明があった。

協議の結果、国立がん研究センターの動向を引き続き注視していくこととなった。

3. 新たな「がん診療提供体制」への対応について

増田委員から、資料25に基づき、今後、県の対応があり次第、報告することとなった。

4. 厚生科学審議会 第4回がん登録部会

増田委員から、資料26に基づき、院内および全国がん登録の指針・マニュアル制定の進捗状況について、報告があった。

また、平成28年1月1日から義務化される全国がん登録について、協力依頼があった。

5. 厚生科学審議会 第5回予防接種・ワクチン分科会

増田委員から、資料27に基づき、HPVワクチン副反応の診療・相談体制の報告や、県内では、琉大病院が協力医療機関として指定されていることについて、説明があった。

真栄里委員から、県の診療・相談体制や患者会の有無について質問があり、県保健医療部健康長寿課の糸数課長から、副反応に対する報告は11件で、そのうち重篤な症状は5件であることや、患者連絡会は把握しておらず、状況をみながら今後の体制を構築していきたいとの説明があった。

また、上田委員から、以前協議会でワクチン接種を推進したことについて検証すべきではないかとの意見があり、協議の結果、国や県と協力してフォローアップを推進していくこととなった。

引き続き、県保健医療部保健医療政策課の兼城主査から、離島への情報支援の一環として、がんの書籍リストを作成・配付したことや、県の移動図書館を利用した支援等、今後も改善に向けて取り組んで行きたいとの報告があった。

6. 第46回がん対策推進協議会

増田委員から、資料28に基づき、がん対策推進基本計画中間評価の集中審議で指標が策定されたとの報告があり、今後は、その指標を基に県が中間評価を実施することについて、説明があった。

7. 第10回がん検診のあり方に関する検討会

増田委員から、資料29に基づき、がん検診のチェックリストの改定や胃がん検診のあり方が検討されたことについて、報告があった。

8. 第15回緩和ケア推進検討会

増田委員から、資料30に基づき、在宅緩和ケアの質の向上や医療連携の推進、緩和ケア提供体制の実施調査に関するワーキンググループについて、報告があった。

9. 小児がん拠点病院の指定に関する検討会（小児がん拠点病院等指定後の整備状況にかかわるヒアリング結果概要）

増田委員から、資料31に基づき、小児がん拠点病院指定後の整備の進捗状況について、報告があった。

10. 終末期医療に関する意識調査等検討会 報告書

増田委員から、資料32に基づき、検討会での掘り下げた意見が報告書に盛り込まれているとの説明があった。

11. 終末期医療に関する意識調査検討会 人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書

増田委員から、資料33に基づき、報告があった。

また、増田委員から、3月26日に琉大病院で開催されるアドバンスケアプランニング研修会の案内や、広島県では県医師会主導の下、もしものときの心構えについての検討を推進していることについて、情報提供があった。

12. 平成26年度がんの教育総合支援事業（文部科学省）

増田委員から、資料34に基づき、平成26年度から実施された、がんの教育総合支援事業について、報告があった。

13. 第1回「がん教育」の在り方に関する検討会（文部科学省）

増田委員から、資料35に基づき、現在、全国70校でがん教育が実施されているとの報告があった。

このことについて、田仲委員から、県のがん教育体制について質問があり、仲本委員から、がん条例に基づき、県の施策として教育委員会に働きかけて行きたいとの回答があった。

また、天野委員から、平成28年度の学習指導要領改定に伴い、他県ではがん教育の議論が進んでいることについての情報提供があった。

14. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第3回・第4回情報提供・相談支援部会

増田委員から、資料36に基づき、就労支援や希少がん関連について、また、相談支援分野でのPDCA確保が議論されたことについて、報告があった。

15. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 第2回緩和ケア部会

増田委員から、資料37に基づき、新指定要件により、緩和ケアの推進が議論されたことについて、報告があった。

16. 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センターの活動報告について

増田委員から、資料38に基づき、研修会開催の活動報告があった。

17. 沖縄県統括相談支援センターの活動報告について

増田委員から、資料39に基づき、宮古・八重山で開催された、がん患者と医療者の交流会の報告や、今後の定期開催についての協力依頼があった。

また、天野委員から、小児の脳腫瘍の集約化について質問があり、百名委員（第19号委員）から、琉大とこども医療センターで症例を集約化し、標準治療を確立する必要性があるとの説明があった。

吉見委員（第19号委員）から、正しいがん知識を協議会から発信するのが望ましいとの意見があった。

18. その他

議長から、協議会を傍聴した、石川県能登地区緩和ケア研究会員の紹介があった。

また、増田委員から、2月4日のワールド・キャンサーデーに因み、105点のがん検診啓発ポスターコンテスト応募作品が、琉大病院の正面玄関ロビーで展示されていることについて、周知があった。